

# 第 32 回建設業経理事務士検定試験

## 4 級試験問題

### 注 意 事 項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄があります。氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。  
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～R）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた(例)に対する解答例にならって記入しなさい。(24点)

(例) 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) 資材置場として使用する土地¥500,000を購入し、代金は現金で支払った。
- (2) 下請企業へ外注していた工事が完成したので、その代金¥350,000を小切手を振り出して支払った。
- (3) 現場事務所で使用する文房具¥2,000を購入し、現金で支払った。
- (4) 営業資金が不足したため、現金¥700,000を追加元入れした。
- (5) 受注していた工事が完成したため発注者に引き渡した。工事代金¥1,200,000は発注者振出しの小切手で受け取った。
- (6) 本社の電話代¥38,000が、当座預金口座から引き落とされた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 普通預金	D 貸付金	E 備品
F 土地	G 借入金	H 資本金	J 完成工事高	K 労務費
L 材料費	M 外注費	N 経費	Q 通信費	R 事務用消耗品費

〔第2問〕 次の設問に答えなさい。(20点)

問1 次の文の  の中に入る用語として適当と思われるものを下記の〈用語群〉から選び、その記号（ア～ト）を解答欄に記入しなさい。

- (1) 取引が発生すると、企業はその内容を記録しなければならない。取引とは、資産・  ・  の内容と  を変化させる事象をいう。取引は、その性質によって3つに分類されるが、資産・  ・  の増加・減少のみで、  や  の発生を伴わない取引を  という。
- (2) 複式簿記の基本手続きを遂行するうえで不可欠の帳簿を、  といい、  の記録を補完する目的で設けられた帳簿を  という。  は  に属し、  は  に属する。

〈用語群〉

ア 金額	イ 費用	ウ 負債	エ 収益	オ 転記
カ 資本(純資産)	キ 主要簿	ク 現金出納帳	コ 総勘定元帳	サ 補助簿
シ 試算表	ス 精算表	セ 混合取引	ソ 損益取引	タ 交換取引
チ 勘定科目	ト 勘定口座			

問2 次の表の(ア)～(ク)に入る金額を計算し、その金額を解答欄に記入しなさい。

(単位：円)

年度	期首			期末			収益	費用	当期純利益または 当期純損失(△)
	資産	負債	資本 (純資産)	資産	負債	資本 (純資産)			
a	80,000	60,000	(ア)	90,000	(イ)	(ウ)	100,000	90,000	×××
b	(エ)	30,000	(オ)	(カ)	35,000	20,000	×××	40,000	5,000
c	90,000	×××	20,000	(キ)	50,000	(ク)	40,000	×××	△2,000

【第3問】 板倉工務店の次の<資料1>及び<資料2>に基づいて、解答用紙の合計残高試算表(平成X年1月15日)を完成しなさい。

(30点)

<資料1> 平成X年1月1日(期首)の勘定残高

現金 ¥190,000    当座預金 ¥480,000    貸付金 ¥10,000    備品 ¥60,000    借入金 ¥200,000  
資本金 ¥540,000

<資料2> 平成X年1月1日から1月15日までの取引

- 4日 現金¥50,000を当座預金から引き出した。
- 6日 工事に使用する材料を購入し、現場に搬入した。代金¥200,000は小切手を振り出して支払った。
- 10日 本社事務所の家賃¥70,000を現金で支払った。
- 11日 現場の諸経費¥60,000を現金で支払った。
- 12日 本社の電気代¥20,000が当座預金口座から引き落とされた。
- 13日 貸付金のうち¥5,000の返済を受け、利息¥500とともに現金で受け取った。
- 15日 本社事務員の給料¥50,000を現金で支払った。

【第4問】 次の事項を参照のうえ、解答用紙の精算表を完成しなさい。

(26点)

- (1) 当期末において工事はすべて完成し、引渡し済みである。
- (2) 工事に関する原価は、すべて完成工事原価勘定に振り替える。